



## 遊覧船で巡る神話の洞窟



JR

岡山 — 松江 (スーパー やくも) 140 分



車

米子自動車道・米子ICより 90 分  
米子鬼太郎空港より 60 分  
出雲縁結び空港より 60 分  
JR 松江駅より 40 分

一般社団法人

# 加賀潜戸遊覧船

マリンプラザしまね 島根県松江市島根町加賀6120-14  
<http://kukedo.com> TEL 0852-85-9111

# 潜戸観光遊覧船

「新潜戸」と「旧潜戸」をめぐる遊覧船です。

潮風を感じながら約50分の船旅が楽しめます。

## 潜戸周遊便 (旧潜戸～新潜戸)



乗船料金 令和7年4月より適用

個人	大人 (中学生以上) 小人 (小学生)	2,000円 1,000円
団体	15名以上 大人 小人	1,800円 900円

●6歳未満の方は大人1名につき2名様まで無料 ●幼児団体の場合は小人料金を適用

※海上の状況により旧潜戸のみの運航となる場合があります。

時刻表

1	10:20
2	11:20
3	12:20
4	13:20
5	14:20
6	15:20

運航期間

3月～11月

※3月と11月の運航についてはお電話にてお問い合わせください。

所要時間 約50分

乗船定員 ①31名×1隻  
②35名×1隻 (最大66名)

ご利用に際して

団体でご利用の際は事前にご予約をお願いします。天候が悪い時及び海上時化の場合は欠航となります。

ご乗船の際は、お電話にて当日の運航状況をご確認の上、お越しください。  
当社ホームページでもご覧いただけます。

# 潜戸案内

小泉八雲が魅入れられた神話の洞窟

神話が伝わる

海の大洞窟「新潜戸」

賽の磯がある「旧潜戸」

日本海の潮風を感じながら

島根半島の絶景



的島

岩石が波によって浸食されたり、岩盤が隆起するなどしてできた岩礁である。鳥帽子の形がその名の由来。若狭湾にも同名の島があり、その島もまた神話の舞台である。

船旅をお楽しみください。  
「加賀の潜戸」を巡る

## 新潜戸

神話に思いを馳せて



## 旧潜戸

やすらかな魂を感じて



的島

## 旧潜戸トンネル



旧潜戸トンネル

遊覧船の発着場から  
賽の磯へ続くトンネル。  
全長は約130mある。  
中には6体のお地蔵様  
が安置されており亡  
くなった幼子の魂と  
くくなつた鳥の魂と  
が、毎年夏至の日に見守  
われている。

新潜戸は、加賀湾の突端に切開された高さ40m、長さ200m深さ8mの海中洞窟です。佐太神社の御祭神佐太の大神である猿田毘古命（さるたひこのみこと）誕生地と伝えられ、神崎内室、錦ヶ浦、亀岩、烏帽子岩、屏風岩、誕生山、高天原、千畳敷などと名づけられた岩や島々があり、神代のロマンを秘めたところです。

大神誕生の時、母神支佐加比売命（ささかひのみこと）が、大切にしていた弓矢が波にさらわれ流されてしまい「失せた弓矢よ、出て來い」と祈念されると、金の弓矢が流れてきた。支佐加比売命は、それを取り上げ「暗い岩穴だなあ。」と言つて岩穴を射通しになりました。その際、射通しされた東戸口から朝日が差し込み明るく洞内が光り輝いたため、「ああ、かかやけり」と申されたのが、ここ「加加（かか）」の地名のはじまりで、後に「加賀」と改められた。

射通しされた金の矢は、東の岩戸を射抜き、勢い余って沖の島「祓い島」を射通し穴が空きました。成長された猿田彦命がこの穴を的に弓の積古したことからこの島は的島と呼ばれています。また、新潜戸の西戸口から入ると、白木の鳥居が立つ平らな岩は誕生岩所であり、支佐加比売命をお祭りした潜戸大神宮のあつた場所と言われています。



西の浜



桂島

桂島を臨む小さな日本海に沈む夕日と島々のコントラストは絶景。5月～7月頃には「海ほたる」を見ることが可能。



象岩



冠島